


【件名】	白子川整備工事（その132の3-2）	【事務所名】	第四建設事務所	
【工事場所】	東京都練馬区大泉学園町一丁目地内から同区東大泉四丁目地内まで	【受注者名】	大豊・八幡建設共同企業体	
【工期】	平成29年6月26日から平成30年3月7日まで	【主たる技術者名】	信江 勲	

## 【工事概要】

近郊の都市化に伴い流域の保水・遊水機能が低下し、大量の雨水が河川へ短期間に流入する「都市型水害」が発生している荒川水系一級河川白子川において、1時間当たり50mmの降雨に対処する護岸改修に伴い行う学園橋拡幅工事の三期工事である。

## 【表彰理由】（※発注者側評価）

現場周辺は家屋が密集し厳しい施工環境であったが、低騒音型機械の使用、仮囲いのクリアパネル・防音シート使用等、工事全般において騒音、振動対策に努めるなど、自発的にトラブル回避の対策を施したことで住民と良好な関係を築いていた。



施工前



施工後

## 【受注者の声】

- ◇ 苦労した点  
本工事の施工箇所の道路は、幹線道路であり、通行止めをしての施工が出来ないため、日々道路規制を行う必要があった。規制時間に上限がある中で、工期を厳守するために密な作業計画を行い、施工を行った。
- ◇ 特に工夫した点  
道路規制を行えるのが夜間のみであったため、騒音の影響を極力抑えるように低騒音型の機械を選定した。また、周辺住民に施工内容を理解していただくために、週間工程表を配布し周知を図った。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感  
施工している間は、現場を統括する責任者であるため、どんなトラブルも想定しておかなくてはならないので、工事が完了するまで本当の意味で安心することはできないが、工事が完了して、地元住民から感謝された時に達成感を感じます。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと  
建設業は、「きつい仕事」「辛い仕事」というイメージを持たれていますが、きつい仕事であるからこそ、物を一から作り上げた時の達成感ややりがいは他にはなかなか味わえないと思います。



舗装状況